

資料編

(景観ガイドラインP59)

デザインの Point

- ◆ 赤瓦を活用することで、沖縄らしい風景を形成することができます。また、赤瓦を屋根に活用することで、遮熱効果も期待できます。
- ◆ 壁面や塀・アプローチ空間などに石材を活用することで、圧迫感を和らげつつ風情を感じる効果も期待できます。
- ◆ 花ブロックを活用することで、通りからの視線を遮りながら、採光や通風を確保することができます。
- ◆ 琉球ガラスや焼物などの素材を活用することで、建築物デザインのアクセントに繋がります。

赤瓦の活用事例



赤瓦素材の様々な活用法

石材の活用事例



琉球石灰岩による石垣



石素材を用いた車庫

花ブロックの活用事例



目隠し壁としての活用事例



ひんぶんとしての活用事例

その他の素材の活用事例



琉球ガラスを部分的に活用した事例



花ブロックに琉球ガラスをはめ込んだ事例



陶器を用いて壁の一部分をデコレーションした事例



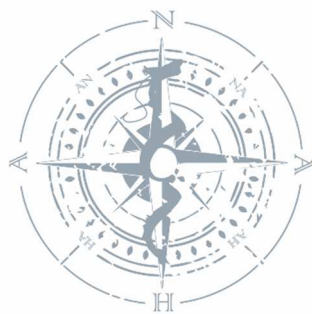
陶器を用いて柱の一部分をデコレーションした事例

那覇市建築デザインマニュアル・サインデザインマニュアル改定検討委員会
委員名簿

	委員氏名	所属・役職
1	都市 デザイン アドバイザー	赤嶺 雅 那覇市都市デザインアドバイザー 沖縄県立芸術大学 美術工芸学部デザイン工芸学科 教授
2		慶佐次 操 那覇市都市デザインアドバイザー 有限会社 名工企画設計 代表取締役
3		島田 宏光 那覇市都市デザインアドバイザー 有限会社 島田ランドスケープ 代表取締役
4		波多野 想 那覇市都市デザインアドバイザー 琉球大学 観光産業科学部 准教授
5		宮城 敏明 那覇市都市デザインアドバイザー 株式会社 沖縄建設技研 常務取締役
6	関 係 団 体	永吉 英 沖縄県広告美術協同組合 理事長 有限会社 エーツーサイン 代表取締役
7		赤嶺 竜司 沖縄県広告美術協同組合 専務理事 株式会社 昭和制作 代表取締役
8		池間 守 一般社団法人 沖縄県建築士事務所協会 副会長 株式会社 エー・アール・ジー 代表取締役社長
9		金城 傑 公益社団法人 沖縄県建築士会 副会長 有限会社 K・でざいん 代表取締役社長
10	當間 卓 公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 支部長 株式会社 泉設計 代表取締役社長	
11	都市 計画	前原 信達 株式会社 都市科学政策研究所 上席研究員 前那覇市都市景観審議会委員
12	カラー	中島 明美 有限会社デザインワークスオンリーワン 代表取締役 沖縄都市モルールビジュアルデザイン検討委員会委員

※那覇市建築デザインマニュアルの事例写真について

那覇市建築デザインマニュアルで使用している事例写真については、那覇市内の事例を主としていますが、より良い事例を紹介するため、県内外の他市町村等の事例を一部活用しております。また、現状に即した最新の整備事例を紹介するため、事例写真の追加等も、今後行っていく予定です。



那覇市建築デザインマニュアル

平成元年 3 月策定

平成 29 年 3 月改定

那覇市